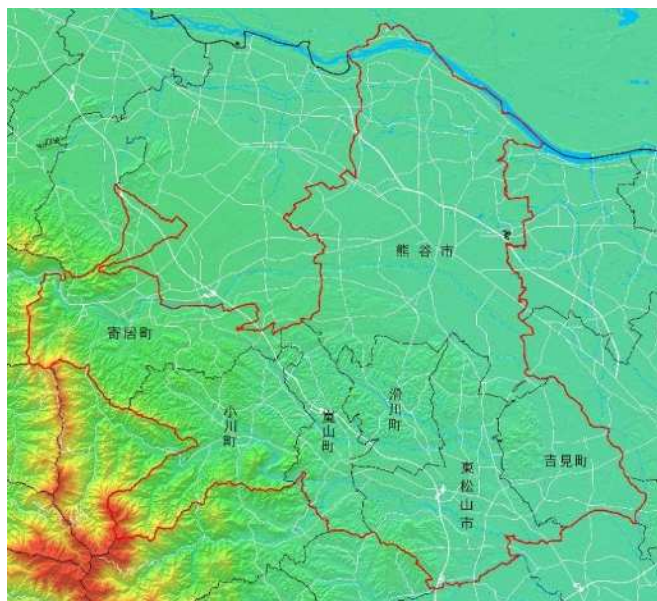
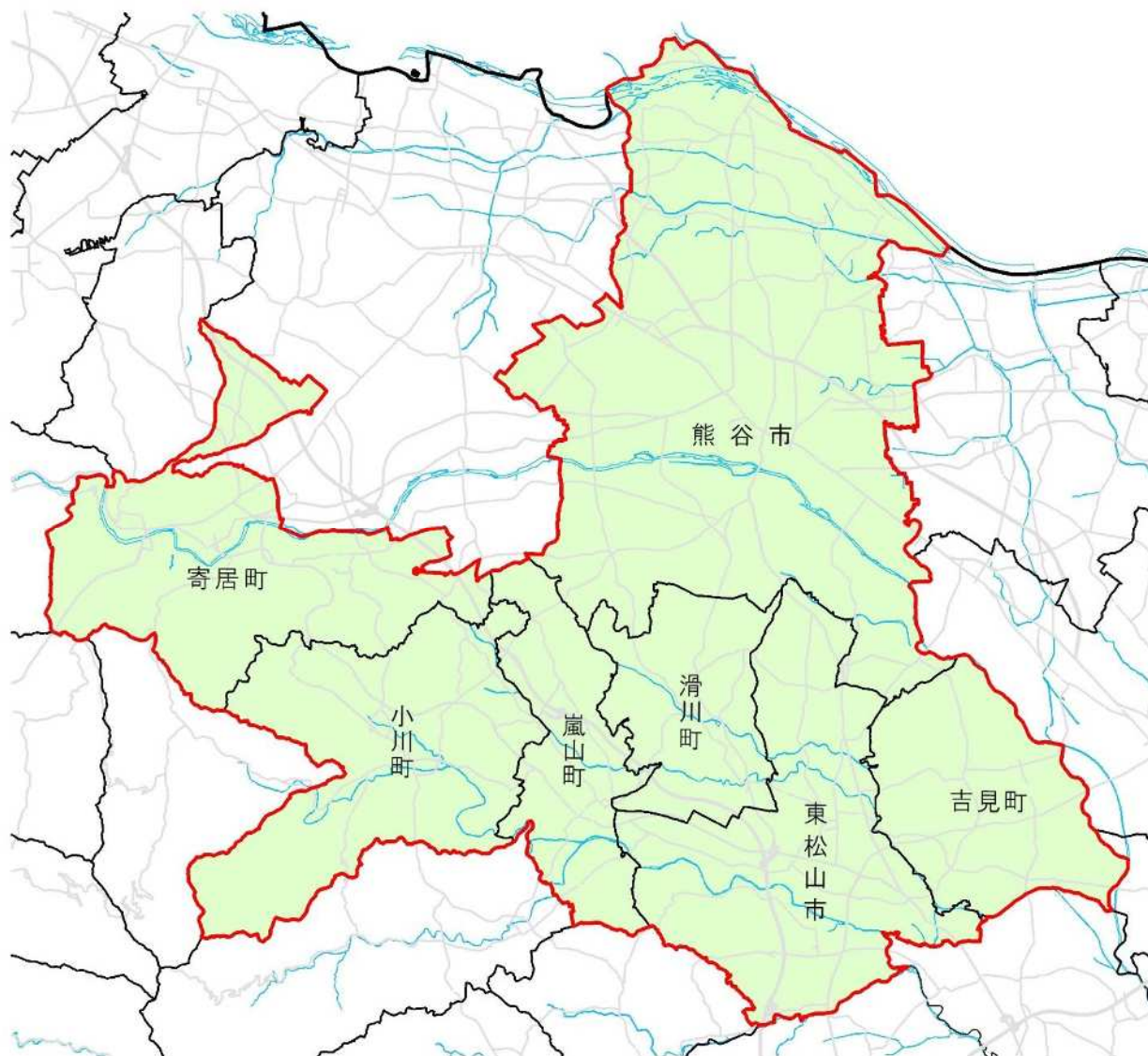


1. 位置図（地形図含む）



比企丘陵農業遺産推進協議会区域（地形図）



2. 土地利用図（滑川町抽出）



比企丘陵農業遺産推進協議会区域（ため池箇所図）



3. 生物多様性資料関連

過去の状況と現在の状況を比較検討するため、平成 29（2017）年度に滑川町のため池 6 箇所を抽出し、調査を行った結果は「滑川町谷津沼（ため池）で確認された種一覧」（表 11）のようであった。

調査対象ため池名称：①谷沼（上） ②谷沼（下） ③伊古大沼 ④宮入沼
⑤南谷沼（下） ⑥紺屋前沼

注 ①谷沼（上）と②谷沼（下）は二段ため池（親子ため池）

表 11 滑川町の谷津沼（ため池）で確認された種一覧：平成 29 年度

分類群	科名他	種名	学名	既存資料確認種	現地調査確認種	備考			
						国 RL	県 RDB	外来種	その他
魚類	コイ科	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	○	●				
		ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	○		EN			国内移入
		フナ類※1	<i>Carassius</i> spp.	○					
		ミヤコタナゴ	<i>Tanakaia tanago</i>	○		CR	EW		
		タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus</i>	○				重点	
		オイカワ（ハヤを含む）	<i>Zacco platypus</i>	○					
		ハクレン	<i>Hypophthalmichthys molitrix</i>	○				総合	
		ソウギョ	<i>Ctenopharyngodon idellus</i>	○				総合	
		ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>		●				
		モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	○	●				
		タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus</i>	○	●				国内移入
	ドジョウ科	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	○	●	DD			
	メダカ科	ミナミメダカ（旧メダカ）	<i>Oryzias latipes</i>	○	●	VU	VU		
	サンフィッシュ科	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>	○				特・緊	
		オオクチバス	<i>Micropterus salmoides</i>	○	●			特・緊	
	ハゼ科	クロダハゼ	<i>Rhinogobius kurodai</i>		●				
		ヨシノボリ類	<i>Rhinogobius</i> sp.	○					
		ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>		●				
甲殻類・貝類他	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	○				緊	
	十脚目※2		Decapoda spp.	○					
	イシガイ科	タガイ	<i>Anodonta japonica</i>	○					
		ヌマガイ	<i>Anodonta lauta Martens</i>		●				
		ドブガイ	<i>Anodonta woodiana</i>	○			NT2		
		マツカサガイ	<i>Inversidens japonensis</i>	○		NT	EN		
	両生類（幼生）		Amphibia sp.	○					

※1 キンブナ・ギンブナを含む ※2 テナガエビ・スジエビ・ヌカエビを含む

国RL：環境省レッドリスト 県RDB：埼玉県レッドデータブック2008

EW：野生絶滅 / CR：絶滅危惧ⅠA類 / EN：絶滅危惧ⅠB類 / VU：絶滅危惧Ⅱ類 / NT：準絶滅危惧種（県RDBでは、NT1：元々の希少種 / NT2：開発によって希少となった種を区別） / DD：情報不足

外来生物法による指定種

特：特定外来生物

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト掲載種

緊：緊急対策外来種（対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある）/ 重点：重点対策外来種（甚大な被害が予想されるため、対策の必要性が高い）/ 総合：その他の総合対策外来種（総合的に対策が必要）

かつて豊かな生物多様性が保全されていた頃の谷津沼では、ミヤコタナゴなどのタナゴ類がヌマガイなどの二枚貝を産卵母貝として利用し、ヌマガイのグロキディウム幼生は、クロダハゼなどのヨシノボリ類の鰓に一時的に寄生し移動を図るなど、複数種間における複雑かつ絶妙な水域生態系が成立していた。

しかし、近年の気候変動により用水が必要な時に必要水量確保の不安が生じている。このため、谷津沼の水を抜いて行われてきた沼普請（補修作業）が行われなくなった。さらに魚食性の特定外来生物（オオクチバス）の移殖・密放流により、豊かな生物相は近年、崩壊の危機に直面している。現に、現地調査の結果では、調査したすべてのため池から外来生物が確認され、その荒廃の程度は、宮入沼 < 南谷沼 < 紺屋前沼 < 谷沼 < 伊古大沼の順に、甚大さを増すものであった。

しかし、宮入沼のように未だ生物多様性が比較的保全されている地域も存在する。そこで、現時点で最も多様性の保たれていた宮入沼の生物リストを基に、文献確認種を補い、ミヤコタナゴの野生復帰などの取り組みを加速させることにより再生が可能と考えられる水域の生物相をリストにすると、以下（表 12）のようになる。

表 12 豊かな生物多様性を裏付ける生物リスト（魚類、甲殻・貝類）：平成 29 年

分類群	科名他	種名	学名	RDB	
				国 RL	県 RDB
魚類	コイ科	キンブナ	<i>Carassius buergeri</i> subsp. 2	VU	NT2
		ミヤコタナゴ	<i>Tanakia tanago</i>	CR	EW
		オイカワ	<i>Zacco platypus</i>		
		ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>		
		モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>		
	ドジョウ科	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	DD	
	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	VU	VU
	ハゼ科	クロダハゼ	<i>Rhinogobius kurodai</i>		
		ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>		
甲殻・貝類	十脚目 ^{※1}		Decapoda spp.		
	イシガイ科	タガイ	<i>Anodonta japonica</i>		
		ヌマガイ	<i>Anodonta lauta</i> Martens		
		ドブガイ	<i>Anodonta woodiana</i>		NT2

※2 テナガエビ・スジエビ・ヌカエビなど、在来のエビ類

国RL:環境省レッドリスト 県RDB:埼玉県レッドデータブック2008

EW:野生絶滅 / CR:絶滅危惧ⅠA類 / EN:絶滅危惧ⅠB類 / VU:絶滅危惧Ⅱ類 / NT:準絶滅危惧種(県RDBでは、NT1:元々の希少種 / NT2:開発によって希少となった種を区別) / DD:情報不足

③ 湿地・湿生草地・水田・低茎草地

現地調査を行った結果（表 13）、谷津地形の日当たりの良い湿地には、ミゾソバ・キカシグサ・イボクサ・ホタルイ等が見られ、草地には、オミナエシ・ウリクサ・ワレモコウ等が生育していた。草刈り等の管理が疎かになると高茎草地になり、これらの植物が育成できなくなる。これらの種が見られるのは里山の保全管理が適切に行われているからとも推定され、管理することにより生育環境が保たれることは明らかである。

表 13 現地調査による主な確認種（植物）：平成 29 年度

種名	谷沼		伊古大沼(台沼を含む)		環境省 RDB	埼玉レッド
	夏季	秋季	夏季	秋季		
シヤジクモ	●		●		VU	VU
イチョウウキゴケ				●	NT	VU
コバノヒノキシダ				●		
ホソバナライシダ				●		
ウマノスズクサ			●			
チゴユリ				●		
ヤマユリ	●					
ヤマジノホトギス				●		
シュンラン				●		NT
ガマ				●		
イ				●		
ヒメクグ			●	●		
タマガヤツリ			●	●		
コゴメガヤツリ				●		
カワラスガナ				●		
ヒデリコ			●	●		
メアゼテンツキ				●		
ホタルイ	●		●			
コブナグサ				●		
ウシノシツペイ				●		
アシボソ				●		
ヨシ				●		
イボクサ		●	●	●		
コスミレ			●			
ミゾハコベ	●	●	●	●		
ワレモコウ		●				
チョウジタデ		●	●	●		
キカシグサ	●		●	●		
ミズマツバ			●	●	VU	VU
ヒシ		●		●		NT
カラスノゴマ			●			
ヤナギタデ				●		
ヤノネグサ				●		
ボントクタデ				●		
ミゾソバ			●	●		
ハシカグサ		●		●		
コバノカモメヅル		●				
ヒメジソ				●		
ミゾコウジュ				●	NT	NT
ウリクサ			●	●		
アメリカアゼナ				●		
アゼトウガラシ			●	●		
アゼナ				●		
キッコウハグマ				●		
トキンソウ			●	●		
シロバナタンポポ				●		
ヤクシソウ			●			
セリ				●		
オミナエシ		●		●		EN

EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧種

また、同時に鳥類やその他の動物についても現地調査を行った。この結果についても下記の表（表 14、表 15）に記載する。

表 14 現地調査による主な確認種（鳥類）：平成 29 年度

種名	谷沼		伊古大沼（台沼を含む）		生息環境 タイプ	環境省 RDB	埼玉県RDB	
	夏季	秋季	夏季	秋季			繁殖	越冬
カルガモ	●				水辺性			
カイツブリ				●	水辺性			
キジバト		●		●	都市型			
アオサギ				●	水辺性		DD	
ホトギス	●				森林性			
アマツバメ				●	上空			
ノスリ		●	●	●	草原性			NT2
フクロウ			●羽		森林性		RT	NT2
アオバズク	●ペリット				森林性		RT	
カワセミ	●				水辺性		Lp	
コゲラ		●		●	森林性			
アオゲラ		●			森林性		RT	
チョウゲンボウ	●				草原性		NT2	
サンコウチョウ			●		森林性		VU	
モズ		●		●	草原性			
カケス		●		●	森林性			
ハシブトガラス		●		●	都市型			
ヤマガラ		●		●	森林性		RT	
シジュウカラ		●		●	都市型			
ガビチョウ		●		●	森林性			
ヒヨドリ		●		●	都市型			
ウグイス		●	●	●	森林性		RT	
エナガ		●	●		森林性		RT	
メジロ		●		●	森林性			
キビタキ		●		●	森林性			
スズメ		●			都市型			
キセキレイ				●	水辺性			
セグロセキレイ		●		●	水辺性			
ホオジロ		●			草原性		RT	

VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT2：準絶滅危惧種（開発によって希少になった種） Lp：絶滅の恐れのある地域個体群
RT：地帯別危惧

表 15 現地調査による主な確認種（その他）：平成 29 年度

分類	目	科	種	谷沼		伊古大沼		その他	環境省 RED	埼玉県 RED
				夏	秋	夏	秋			
哺乳類	ネズミ目	ネズミ科	ホンドカヤネズミ			●				NT1.2
爬虫類	トカゲ目	トカゲ科	ヒガシニホントカゲ		●	●				RT
		ナミヘビ科	アオダイショウ			●				NT2
		ナミヘビ科	ヒバカリ		●					VU
		クサリヘビ科	ニホンマムシ				●			RT
昆虫類	バッタ目	キリギリス科	ヒガシキリギリス	●		●				NT1
クモ類	クモ目	コガネグモ科	コガネグモ					●中尾の水田		EN
		コガネグモ科	オオトリノフンダマシ			●				NT2
貝類	ニナ目	ヤマタニシ科	アツタガイ			●				VU
			9種	1種	2種	6種	1種	1種		9種

EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT1：準絶滅危惧種（もともと生息環境が希少な種）
NT2：準絶滅危惧種（開発によって希少になった種） RT：地帯別危惧

④ 用排水路

用水路は、谷津沼の水を水田に注ぎ入れる施設である。当地域における用水路は、丘陵地形による傾斜で、流速が速い上、ほぼすべてがコンクリート張りの水路である。さらに、水田への送水時以外は乾燥していることから、生物多様性を支える施設とはなっていない。一方、排水路は、余水吐からの排水と、水田で繰り返し使用された水を交えて谷津の外にある河川へと排水する施設であり、所によっては周年にわたり水を湛える場所もあることから、生きものによる利用は用水路よりも多い。

現地調査の結果もこのことを反映した結果となり、排水路に生息する動物は、過去の文献調査と現地調査の結果から下記の表「谷津区域の排水路で確認された種一覧」(表 14)で示すような種であった。

表 16 谷津区域の排水路で確認された種一覧：平成 29 年度

分類群	科名他	種名	学名	既存資料確認種	現地調査確認種	備考			
						国 RL	県 RDB	外来種	その他
魚類	コイ科	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	○					
		ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	○		EN			国内移入
		フナ類※ ¹	<i>Carassius</i> spp.	○					
		タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus</i>	○				重点	
		オイカワ(ハヤを含む)	<i>Zacco platypus</i>	○					
		モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	○	●				
		タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus</i>	○					国内移入
	ドジョウ科	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	○		DD			
	メダカ科	ミナミメダカ(旧メダカ)	<i>Oryzias latipes</i>	○		VU	VU		
	ハゼ科	ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>		●				
甲殻類・貝類他	ヌマエビ科	シナヌマエビ	<i>Neocaridina</i> sp.		●				
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	○				緊	
	十脚目※ ²		Decapoda spp.	○					
	カワニナ科	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>		●				
	タニシ科	ヒメタニシ	<i>Sinotaia quadrata histrica</i>		●				
	シジミ科	マシジミ	<i>Corbicula leana</i>		●				
	両生類(幼生)		Amphibia spp.	○	●				

※1 キンブナ・ギンブナを含む ※2 テナガエビ・スジエビ・ヌカエビを含む

国RL:環境省レッドリスト 県RDB:埼玉県レッドデータブック2008

EW:野生絶滅 / CR:絶滅危惧ⅠA類 / EN:絶滅危惧ⅠB類 / VU:絶滅危惧Ⅱ類 / NT:準絶滅危惧種(県RDBでは、NT1:元々の希少種 / NT2:開発によって希少となった種を区別) / DD:情報不足

外来生物法による指定種

特:特定外来生物

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト掲載種

緊:緊急対策外来種(対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある)/重点:重点対策外来種(甚大な被害が予想されるため、対策の必要性が高い) / 総合:その他の総合対策外来種(総合的に対策が必要)

排水路において、本来の目的である排水機能を保ちつつ、生物多様性に配慮を加えることは容易なことではないが、水路の連続性を考えつつ、魚類等の生息をわずかでも支えられる施設へと改善することが望まれる。また、水路をわずかでも堰上げし、常時水がたまる空間を確保すると、谷沼（下）の排水路に見られるように、カワニナが多く生息するようになり、田園景観を彩るゲンジボタルやヘイケボタルの飛翔も期待できる可能性がある。

このような水路の連続性に関して述べると、特にホタル復活の気運の高まりは強く、嵐山町、小川町ではその場に応じた湿った水路化を進める取り組みを行い、ホタルを復活・保護させる取り組みも進められている。また、熊谷市や東松山市ではホタルは復活しておりホタル祭り等と銘打った行事も行われている。熊谷市の場合、ゲンジボタルを未来の子どもたちに繋げていくため、地域活動として「NPO法人熊谷市ほたるを保護する会」による荒廃田や保安林の整備を行っており埼玉県から表彰を受けている。

そこで、現時点で生物が確認された谷沼（下）からの排水路の生物リストを基に、文献確認種を補い、水域の生物相をリストにすると、以下に示す「豊かな生物多様性を裏付ける生物リスト（魚類、底生動物〈甲殻・貝類〉）」（表 17）のようになる。

表 17 豊かな生物多様性を裏付ける生物リスト（魚類、底生動物〈甲殻・貝類〉）

分類群	科名他	種名	学名	RDB	
				国 RL	県 RDB
魚類	コイ科	キンブナ	<i>Carassius buergeri</i> subsp. 2	VU	NT2
		オイカワ	<i>Zacco platypus</i>		
		モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>		
	ドジョウ科	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	DD	
	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	VU	VU
	ハゼ科	ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>		
底生動物	十脚目※2		Decapoda spp.		
	カワニナ科	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>		
	タニシ科	ヒメタニシ	<i>Sinotaia quadrata histrica</i>		
	シジミ科	マシジミ	<i>Corbicula leana</i>		
	ホタル科	ヘイケボタル	<i>Luciola lateralis</i>		NT1

※2 テナガエビ・スジエビ・ヌカエビなど、在来のエビ類

国RL: 環境省レッドリスト 県RDB: 埼玉県レッドデータブック2008

EW: 野生絶滅 / CR: 絶滅危惧ⅠA類 / EN: 絶滅危惧ⅠB類 / VU: 絶滅危惧Ⅱ類 / NT: 準絶滅危惧種(県RDBでは、NT1: 元々の希少種 / NT2: 開発によって希少となった種を区別) / DD: 情報不足

⑤ 河川

河川は、生き物の重要な生息環境であるとともに、水を介して谷津沼間をつなぐコリドー（回廊、移動経路）の役割も担うことから、谷津沼の生物多様性を保全するうえで重要な環境要素となる。

谷津沼下流の河川に生息する生きものは、文献調査の結果、以下「河川に近い排水路で確認された種一覧」（表 18）に示す種が挙げられた。

表 18 河川に近い排水路で確認された種一覧

分類群	科名他	種名	学名	既存資料確認種	備考			
					国 RL	県 RDB	外来種	その他
魚類	コイ科	ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>	○	NT	CR		
		タナゴ	<i>Acheilognathus melanogaster</i> ※4	○	EN	EX		
		タイリクバラタナゴ	<i>Rhodeus ocellatus</i>	○			重点	
		モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>	○				
		オイカワ（ハヤを含む）	<i>Zacco platypus</i>	○				
		カワムツ※1	<i>Zacco temminckii</i>	○				国内移入
		タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus</i>	○				国内移入
		ツチフキ	<i>Abbottina rivularis</i>	○	EN			国内移入
		カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus</i>	○				
		コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	○				
		ゲンゴロウブナ	<i>Carassius cuvieri</i>	○	EN			国内移入
		フナ類※2	<i>Carassius</i> spp.	○				
		ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	○				
	ドジョウ科	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	○	DD			
	ギギ科	ギバチ	<i>Tachysurus tokiensis</i>	○	VU	VU		
甲殻類・貝類他	ナマズ科	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>	○		NT2		国内移入※5
	メダカ科	ミナミメダカ（旧メダカ）	<i>Oryzias latipes</i>	○	VU	VU		
		ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>	○				
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>	○			緊	
	十脚目※3		Decapoda spp.	○				
両生類（幼生）	イシガイ科	マツカサガイ	<i>Inversidens japonensis</i>		NT	EN		ため池での確認
	シジミガイ科	シジミ類	<i>Corbiculidae</i> spp.	○				
	両生類（幼生）		Amphibia spp.	○				

※1 以前、カワムツはA型・B型の2型があるとされていたが、2003年に学名が決定され、前者をヌマムツ、後者カワムツという新和名が提唱された

※2 キンブナ・ギンブナを含む ※3 テナガエビ・スジエビ・ヌカエビを含む ※4 文献5にはタナゴのシノニム（*Acheilognathus morio*）と記載 ※5 愛知県東遷跡では、江戸時代以降のもののみから発見される

国RL: 環境省レッドリスト 県RDB: 埼玉県レッドデータブック2008

EX: 絶滅 / EW: 野生絶滅 / CR: 絶滅危惧ⅠA類 / EN: 絶滅危惧ⅠB類 / VU: 絶滅危惧Ⅱ類 / NT: 準絶滅危惧種（県RDBでは、NT1: 元々の希少種 NT2: 開発によって希少となった種を区別）/ DD: 情報不足

外来生物法による指定種

特: 特定外来生物

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト掲載種

緊: 緊急対策外来種（対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある）/ 重点: 重点対策外来種（甚大な被害が予想されるため、対策の必要性が高い） 総合: その他の総合対策外来種（総合的に対策が必要）

谷津沼下流の河川は、なだらかな丘陵、田畑、雑木林を流れる流速の比較的緩やかな河川であり、ヤリタナゴ、タナゴ、重点対策外来種のタイリクバラタナゴが確認されていることから、現在もこれらの種および産卵母貝となるヌマガイ、イシガイ、マツカサガイ、ドブガイ等の二枚貝も河川内に生息している可能性があると考えられている。

また、カマツカ、ドジョウ、ギバチといった底生魚が多く確認されており、生物多様性を支える多様な水際～河床環境が整っていることがうかがえる。

これらの文献調査結果を基に、水域の生物相をリストにすると、以下に示す「豊かな生物多様性を裏付ける生物リスト（魚類、甲殻・貝類）」（表 19）のようになる。

表 19 豊かな生物多様性を裏付ける生物リスト（魚類、甲殻・貝類）

分類群	科名他	種名	学名	備 考		
				国 RL	県 RDB	そ の 他
魚 類	コイ科	ヤリタナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>	NT	CR	
		モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>			
		オイカワ	<i>Zacco platypus</i>			
		カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus</i>			
		コイ	<i>Cyprinus carpio</i>			
		キンブナ	<i>Carassius buergeri</i> subsp. 2			
		ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>			
	ドジョウ科	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>	DD		
	ギギ科	ギバチ	<i>Tachysurus tokiensis</i>	VU	VU	
	メダカ科	ミナミメダカ	<i>Oryzias latipes</i>	VU	VU	
	ハゼ科	ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>			
甲 殻 ・ 貝 類	十脚目 ※3		Decapoda spp.			
	イシガイ科	マツカサガイ	<i>Inversidens japonensis</i>	NT	EN	ため池の確認種
	シジミガイ科	マシジミ	<i>Corbicula leana</i>			

※1 テナガエビ・スジエビ・ヌカエビを含む

国RL:環境省レッドリスト 県RDB:埼玉県レッドデータブック2008

CR:絶滅危惧ⅠA類 / EN:絶滅危惧ⅠB類 / VU:絶滅危惧Ⅱ類 / NT:準絶滅危惧種
/ DD:情報不足

また、当協議会の嵐山町では河川の魚類の生息状況等を継続的に把握し改善施策の基礎資料とするため毎年8月に魚類調査を実施している。その資料によると小川町の谷津沼下から流れ込む市野川は、比較的緩やかな河川であり河床は砂、細礫、中礫、粗礫、小石で水深は10cm～80cm、水際はヨシ類、その他草木が繁茂している状況である。嵐山町の相生橋から新

市野川橋、精進橋付近には、「環境省レッドリスト」において選定されているムサシノジュズカケハゼや「環境省レッドリスト」及び「埼玉県レッドデータブック」において選定されているミナミメダカなどの重要種が確認されている（図7）。

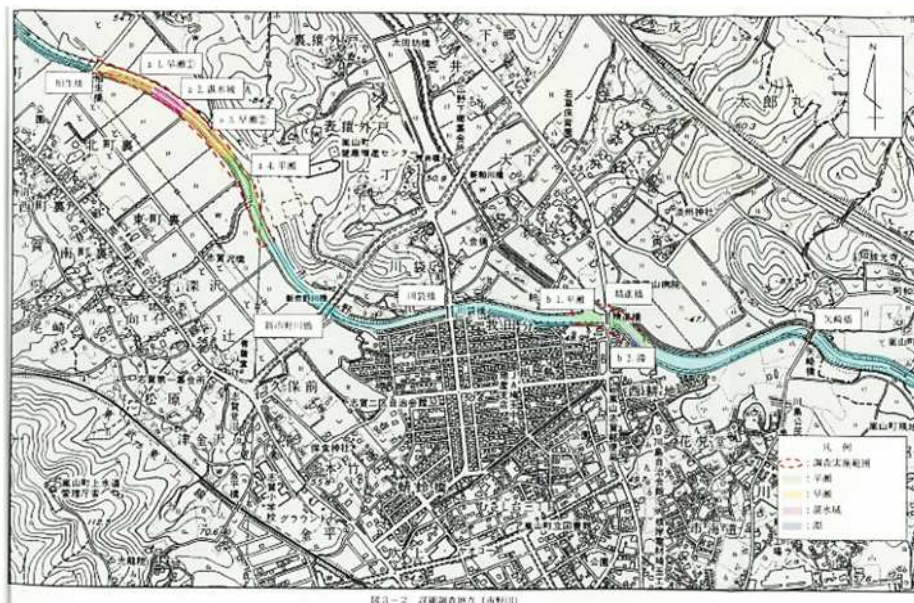


図 46 嵐山町調査箇所

比企丘陵地域内の中央に位置する「国営武蔵丘陵森林公園」の協力により公園内で確認された動植物調査報告書のリストを次頁以降に添付する。比企丘陵内の各谷津は、在来種のシェルターとして区域間移動も行われやすいため、調査報告書で確認された動植物と同様な生態系が当地域では育まれていると想定することが出来る。

報告書抜粋によるリストの目次

植物	76
菌類（キノコ類）	88
哺乳類	93
両生類	94
爬虫類	95
魚類	96
水生生物	97
鳥類	99
昆虫類	101

No.	分類	科名	種名	学名	重要種 環境省 埼玉県	注目種	帰化種	環境学習 等の資源	確認位置 (H21・22年度)	確認位置 (H25・26年度)	確認位置 (R2・R3年度)									
									A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
1	シダ植物	ヒカゲノカズラ	ホソバトウガシバ	<i>Utricularia sororia</i> var. <i>sororia</i>					●				●							
2		トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>									●							
3		ハナヤスリ	ホオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i>									●							
4			フユノハナワラビ	<i>Botrychium ternatum</i>									●							
5			コヒロハナヤスリ	<i>Onoclea sensibilis</i>	VU								●							
6		センマイ	センマイ	<i>Osmunda japonica</i>									●							
7		ウラボシ	ウラボシ	<i>Adiantum punctatum</i>	NT								●							
8		カニクサ	カニクサ	<i>Adiantum punctatum</i> var. <i>japonicum</i>									●							
9		コバノイシカガマ	イヌシメ	<i>Adiantum punctatum</i> var. <i>japonicum</i>									●							
10			イヌシメ	イヌシメ	<i>Adiantum punctatum</i>								●							
11			フモトシダ	フモトシダ	<i>Microlepia marginata</i>								●							
12				イノモトウ	<i>Asplenium platyneuron</i> ssp. <i>japonicum</i>								●							
13			イノモトウ	イノモトウ	<i>Asplenium platyneuron</i>								●							
14				イノモトウ	<i>Asplenium platyneuron</i>								●							
15			チャセンシダ	イノモトウ	<i>Asplenium platyneuron</i>								●							
16				トクサ	<i>Asplenium platyneuron</i>								●							
17				コバノヒノキシダ	<i>Asplenium platyneuron</i>								●							
18			シシシダ	シシシダ	<i>Asplenium platyneuron</i>								●							
19			オシダ	シシシダ	<i>Asplenium platyneuron</i>								●							
20			ホソバトウガシバ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
21			リョウメンシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
22			ホソバトウガシバ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
23			ヤマヤブシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
24			ヤマヤブシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
25			ツリハヤブシダ	<i>Adiantum punctatum</i>	NT							●								
26			イノモトウ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
27			ベニシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
28			トウゴクシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
29			ホソバトウガシバ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
30			クマワラビ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
31			ホソバトウガシバ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
32			ホソバトウガシバ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
33			ナラシシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
34			アスカイノサ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
35			アスカイノサ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
36			イノモトウ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
37	ヒメシダ		カシシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
38			ミシシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
39			ハナシシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
40			ハナシシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
41			ハナシシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
42			ヤウラビ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
43			ヒメシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
44			ヒメシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
45		メシダ		ミドリヒメシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●							
46				イヌワラビ	<i>Adiantum punctatum</i>								●							
47			ベニシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
48			ホソバトウガシバ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
49			シシシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●								
50	コウヤウラビ			フモトシダ	<i>Adiantum punctatum</i>							●								
51				イヌワラビ	<i>Adiantum punctatum</i>								●							
52				コウヤウラビ	<i>Adiantum punctatum</i>								●							
53				ノギシダ	<i>Adiantum punctatum</i>								●							
54				ノギシダ (広義)	<i>Adiantum punctatum</i>								●							
55			イチヨウマツ	<i>Pinus densata</i>								●								
56		裸子植物	マツ	マツ	<i>Pinus densata</i>							●								
57			トイソトウヒ	<i>Pinus densata</i>							●									
58			アカマツ	<i>Pinus densata</i>							●									
59			ツツジ	<i>Pinus densata</i>							●									
60				<i>Pinus densata</i>							●									
61	ヒノキ		スギ	<i>Pinus densata</i>								●								
62				ヒノキ	<i>Pinus densata</i>							●								
63				ササキ	<i>Pinus densata</i>							●								
64				メタセコイア	<i>Pinus densata</i>							●								
65				カヤ	<i>Pinus densata</i>							●								
66			カヤ	<i>Pinus densata</i>							●									
67		雑草花類	ヤナギ	セイヨウハコヤナギ	<i>Salix caprea</i>								●							
68			ハコヤナギ	<i>Salix caprea</i>								●								
69			マルバヤナギ	<i>Salix chaenomeloides</i>								●								
70			アカヤナギ	<i>Salix chaenomeloides</i>								●								
71			イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i>								●								
72			オノエヤナギ	<i>Salix udensis</i>								●								
73			カヤナギ	<i>Salix triandra</i>								●								
74			イイギリ	<i>Salix triandra</i>								●								
75			カバノキ	カヤナギ	<i>Salix triandra</i>							●								
76				カバノキ	<i>Salix triandra</i>							●								
77			カバノキ	<i>Salix triandra</i>							●									

No.	分類	科名	種名	学名	重要種 環境省 埼玉県	注目種	帰化種	環境学習 等の資源	確認位置 (H21・22年度)				確認位置 (H25・26年度)				確認位置 (H2・H3年度)			
									A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
78			クマシデ	<i>Carpinus japonica</i>																
79			アカシデ	<i>Carpinus laxiflora</i>																
80			イヌシデ	<i>Carpinus escheroskii</i>																
81	ブナ		クリ	<i>Castanea crenata</i>																
82			スダシイ	<i>Castanopsis sieboldii</i> ssp. <i>sieboldii</i>																
83			マケハシイ	<i>Lithocarpus edulis</i>																
84			クヌギ	<i>Quercus acutissima</i>																
85			アラカシ	<i>Quercus glauca</i>																
86			シラカシ	<i>Quercus myrsinifolia</i>																
87			コナラ	<i>Quercus serrata</i> ssp. <i>serrata</i> var. <i>serrata</i>																
88	クルミ		カンボクワフ	<i>Pterocarya stanortera</i>																
89	アサ		ムクノギ	<i>Aphananthe aspera</i>																
90			エノケノギ	<i>Celtis bessoensis</i>																
91			ユズノギ	<i>Celtis sinensis</i>																
92			カナムグラ	<i>Humulus scandens</i>																
93	ニレ		アキニレ	<i>Ulmus parvifolia</i>																
94			ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>																
95			ヒメコウソ	<i>Broussonetia monalea</i>																
96			カシノギ	<i>Broussonetia papyrifera</i>																
97			クロクサ	<i>Fatoua villosa</i>																
98			マクラ	<i>Morus alba</i>																
99			ヤマグル	<i>Morus australis</i>																
100			クサコヤカソ	<i>Boehmeria gracilis</i>																
101	イラクサ		ヤブメオ	<i>Boehmeria japonica</i> var. <i>longispica</i>																
102			カラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>concolor</i>																
103			サンバシカラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>nivea</i>																
104			クサメオ	<i>Boehmeria plataniifolia</i>																
105			スヤブメオ	<i>Boehmeria sieboldiana</i>																
106			ナカハヤブメオ	<i>Boehmeria stipitata</i>																
107			コアカソ	<i>Pilea hamoi</i>																
108			ミズ	<i>Pilea japonica</i>																
109			ヤミミズ	<i>Pilea pumila</i>																
110	ビヤカダン		アカビクソウ	<i>Thesium chinense</i>																
111	タデ		シシヒキ	<i>Persicaria filiformis</i>																
112			シシヒキ	<i>Persicaria neofiliformis</i>																
113			ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>																
114			オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> var. <i>lapathifolia</i>																
115			イヌタデ	<i>Persicaria longica</i>																
116			ヤノネグサ	<i>Persicaria muricata</i>																
117			オオベニタデ	<i>Persicaria orientalis</i>																
118			イシミカド	<i>Persicaria perfoliata</i>																
119			ハナタデ	<i>Persicaria posumbu</i>																
120			ホントクダ	<i>Persicaria pubescens</i>																
121			マメコシロシダ	<i>Persicaria sagittata</i>																
122			アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sagittata</i> var. <i>sibirica</i>																
123			ミソソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>																
124			ハナタデ	<i>Persicaria vulgaris</i>																
125			イタドリ	<i>Fallopia japonica</i> var. <i>japonica</i>																
126			ヒメツルソバ	<i>Persicaria capitata</i>																
127			スイバ	<i>Rumex acetosa</i>																
128			ヒメスイバ	<i>Rumex acetosella</i> ssp. <i>pyrenaeicus</i>																
129			アレチギシギシ	<i>Rumex crispus</i>																
130			ナカハギシギシ	<i>Rumex crispus</i>																
131			ギシギシ	<i>Rumex japonicus</i>																
132			エソノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>																
133			ヨウシュヤマゴボウ	<i>Physolacca americana</i>																
134	ヤマゴボウ		サクロソウ	<i>Triastrophe stricta</i>																
135	スベリヒユ		ササユイ	<i>Portulaca oleracea</i>																
136	ササユイ		スベリヒユ	<i>Arenaria serpyllifolia</i> var. <i>serpyllifolia</i>																
137			ノミソウ	<i>Geranium glomeratum</i>																
138			オウゴンダミミナグサ	<i>Geranium holatum</i> ssp. <i>vulgare</i> var. <i>angustifolium</i>																
139			ミミナグサ	<i>Sagina japonica</i>																
140			ツメクサ	<i>Silene armeria</i>																
141			ムシトリナデシコ	<i>Stellaria uliginosa</i> var. <i>undulata</i>																
142			ノミソバ	<i>Stellaria aquatica</i>																
143			ウシハコベ	<i>Stellaria media</i>																
144			コハコベ	<i>Stellaria neglecta</i>																
145			ミドリハコベ	<i>Chenopodium ambrosioides</i>																
146			アカリタソウ	<i>Chenopodium ficifolium</i>																
147			コアカサ	<i>Chenopodium album</i> var. <i>album</i>																
148			シロサ	<i>Desphania pumilio</i>																
149			ヨウシュウアリタソウ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>																
150			イノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>																
151			ヒカガイノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>tomontosa</i>																
152			ヒサガイノコヅチ	<i>Achyranthes longifolia</i>																
153			ヤナギイノコヅチ	<i>Amaranthus blitum</i>																
154			イヌビユ																	

No.	分類	科名	種名	学名	重要種 環境省 埼玉県	注目種	帰化種	栽培実習 等の資源	確認位置 (H21・22年度)				確認位置 (H25・26年度)				確認位置 (H2・H3年度)			
									A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
155			ホソアカガイスイビユ	<i>Amarantus viridis</i>					●				●							●
156			ホソアカガイイトウ	<i>Amarantus patulus</i>																
157			アオビユ	<i>Amarantus viridis</i>																
158	モクレン		ユリノキ	<i>Liriodendron tulipifera</i>																
159			ガイサンボク	<i>Regelia grandiflora</i>																
160			ホオノキ	<i>Regelia obovata</i>																
161			コバシ	<i>Regelia kobus</i>																
162	マツボサ		ササカスラ	<i>Kadsura japonica</i>																
163	シキミ		シキミ	<i>Lillicium anisatum</i>																
164	クスノキ		クスノキ	<i>Cinnamomum camphora</i>																
165			ヤブニツカイ	<i>Cinnamomum zabanikkeoi</i>																
166			ヤブニツカイ	<i>Lindera glauca</i>																
167			ダンゴウバイ	<i>Lindera obtusa</i>																
168			クロモシ	<i>Lindera umbellata var. umbellata</i>																
169			カブノキ	<i>Neolitsea thibetica</i>																
170			シロダモ	<i>Calthea palustris var. nipponica</i>																
171	キンボウガ		イヌシヨウマ	<i>Cimicifuga hibernata</i>																
172			ボクタンソウ	<i>Clematis integrifolia</i>																
173			センニンソウ	<i>Clematis integrifolia var. bitermata</i>																
174			センニンソウ	<i>Clematis tenuifolia</i>																
175			セリハセニンソウ	<i>Hebebinum anthracifolium</i>																
176			タキツネノボタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i>																
177			タキツネノボタン	<i>Ranunculus siliatifolius</i>																
178			アイカリソウ	<i>Thalictrum minus var. bipartitum</i>																
179	メギ		アキカラマツ	<i>Thalictrum grandiflorum var. thibeticum</i>	NT															
180			ヒイラギナンテン	<i>Berberis japonica</i>																
181			ナンテン	<i>Nandina domestica</i>																
182			ゴヨウアケビ	<i>Aebia x pentaphylla var. pentaphylla</i>																
183	アケビ		アケビ	<i>Aebia cultata</i>																
184			ミツバアケビ	<i>Aebia trifoliata</i>																
185	ツツワツジ		アオツツワツジ	<i>Gocculus trifolius</i>																
186	スイレ		オニハス	<i>Furva ferox</i>	CR															
187			園芸スイレ	<i>Wymolaea ex.</i>																
188			スイレ	<i>Wymolaea ex.</i>																
189			ドクダミ	<i>Asplenium cordata</i>																
190			ドクダミ	<i>Saururus chinensis</i>																
191			ハンガシヨウ	<i>Gloranthus quadrifolius</i>																
192	センリョウ		ヒトリシズカ	<i>Gloranthus serratus</i>																
193			フタリシズカ	<i>Aristolochia debilis</i>																
194	ウマノスズクサ		ウマノスズクサ	<i>Heteropogon kooyana var. nipponica</i>																
195			カンアオイ	<i>Actinidia deliciosa</i>																
196	マダバ		キウイフルーツ	<i>Camellia japonica</i>																
197	ツバキ		ヤブツバキ	<i>Stemaria sinensis var. sinensis</i>																
198			ヤブツバキ	<i>Stemaria sinensis var. sinensis</i>																
199			ヒメシヤラ	<i>Cleome japonica</i>																
200	サカキ		サカキ	<i>Furva emarginata var. emarginata</i>																
201			ハマヒサカキ	<i>Furva japonica</i>																
202			ヒサカキ	<i>Furva japonica</i>																
203			モッコク	<i>Fernstroemia gymnanthera</i>																
204	フササクラ		フササクラ	<i>Apocynum polyanthum</i>																
205	ケシ		クサノオウ	<i>Chelidonium majus ssp. asiaticum</i>																
206			シロボウエンゴク	<i>Gordalys decumbens</i>																
207			ムラサキケマン	<i>Gordalys incisus</i>																
208			タケニクサ	<i>Macleaya cordata</i>																
209			ナガミヒナガシ	<i>Papaver dubium</i>																
210	アブラナ		ハルサキヤマハナ	<i>Barbarea vulgaris</i>																
211			セイヨウアブラナ	<i>Brassica napus</i>																
212			ササナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i>																
213			タネツケハナ	<i>Gardamine occulta</i>																
214			ミチタネツケハナ	<i>Gardamine hirsuta</i>																
215			イヌナズナ	<i>Draba nemorosa</i>																
216			マダダナ	<i>Lepidium virginicum</i>																
217			シヨウツクシ	<i>Orchophragmus violaceus var. violaceus</i>																
218			オランダガラシ	<i>Wasturtium officinale</i>																
219			ハナガラシ	<i>Orchophragmus violaceus</i>																
220			イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i>																
221			スカタシタ	<i>Rorippa palustris</i>																
222	ペンケイソウ		クサノオウ	<i>Thlaspi arvense</i>																
223			コモチマン	<i>Sedum balfifolium</i>																
224			ツルマン	<i>Sedum sarmentosum</i>																
225			ヨコハママン	<i>Sedum sp.</i>																
226	ユキノシタ		チヂメ	<i>Asclepias microphylla</i>																
227			チヂメ	<i>Chrysosplenium graveolens</i>																
228			ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i>																
229			ギンハハ	<i>Hebebinum bifida</i>	NT															
230	アジサイ		ウツギ	<i>Hebebinum bifida</i>																
231			マルバウツギ	<i>Hebebinum bifida</i>																

No.	分類	科名	種名	学名	重要種 環境省 埼玉県	注目種 国内希少種	帰化種	栽培学習 等の資源	確認位置 (H21・22年度) 確認位置 (H25・26年度) 確認位置 (H2・H3年度)											
									A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
232			コアシシイ	<i>Portensia hirta</i>					●				●			●				●
233			アシシイ	<i>Platanus involuta</i> var. <i>involuta</i>																●
234			アシシイ	<i>Portensia macrophylla</i> f. <i>macrophylla</i>																●
235			アシシイ	<i>Portensia serrata</i> var. <i>serrata</i>																●
236			フリウツギ	<i>Rotemolla paniculata</i>					●				●							●
237			キンミズヒキ	<i>Artemisia pilosa</i> var. <i>japonica</i>					●				●							●
238			ヒメキンミズヒキ	<i>Artemisia nipponica</i>					●				●							●
239			クサボク	<i>Chaenactis japonica</i>					●				●							●
240			ヘビイチゴ	<i>Potentilla heblchigo</i>					●				●							●
241			アブヘビイチゴ	<i>Potentilla indica</i>					●				●							●
242			ビワ	<i>Eriobotrya japonica</i>					●				●							●
243			ヤブアキ	<i>Aeris japonica</i>					●				●							●
244			キンシロ	<i>Potentilla fragarioides</i>					●				●							●
245			ミツバツグ	<i>Potentilla freyniana</i>					●				●							●
246			オヘビイチゴ	<i>Potentilla anomala</i>					●				●							●
247			カマツカ	<i>Purshia villosa</i> var. <i>hirsuta</i>					●				●							●
248			カマバクモドキ	<i>Pranacantha angustifolia</i>					●				●							●
249			イヌサクラ	<i>Padus buergeriana</i>					●				●							●
250			ワリミズクラ	<i>Padus grayana</i>					●				●							●
251			ヤブサクラ	<i>Cerasus jamasakura</i> var. <i>jamasakura</i>					●				●							●
252			ヤブサクラ	<i>Cerasus leucileuca</i>					●				●							●
253			カサミモチ	<i>Photinia glabra</i>					●				●							●
254			ライハシ	<i>Rosa multiflora</i> var. <i>multiflora</i>					●				●							●
255			テリハノイバラ	<i>Rosa luciae</i>					●				●							●
256			クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i>					●				●							●
257			クマイチゴ	<i>Rubus hirsutus</i>					●				●							●
258			三羽イチゴ	<i>Rubus microphyllus</i>					●				●							●
259			キミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i>					●				●							●
260			ナリシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>					●				●							●
261			ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i>					●				●							●
262			シモツケ	<i>Spiraea japonica</i> var. <i>japonica</i>					●				●							●
263			ニギヤナギ	<i>Spiraea thunbergii</i>					●				●							●
264			コノメツギ	<i>Neillia incisa</i>					●				●							●
265			ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> var. <i>ulibrissin</i>					●				●							●
266			ヤブナメ	<i>Amphicarpaea edgeworthii</i>					●				●							●
267			ジャケツイバラ	<i>Gesualpinia decapetala</i>					●				●							●
268			ケヤブナギ	<i>Hydrangea paniculata</i> ssp. <i>fallax</i>					●				●							●
269			スズビトナギ	<i>Hydrangea paniculata</i> ssp. <i>oxyphylla</i> var. <i>japonica</i>					●				●							●
270			ヤブナギ	<i>Desmodium paniculatum</i>					●				●							●
271			アレサスビトナギ	<i>Humusia truncata</i>					●				●							●
272			ノササガ	<i>Glucose max</i> ssp. <i>soja</i>					●				●							●
273			ツルナメ	<i>Indigofera pseudotinctoria</i>					●				●							●
274			コマツナギ	<i>Indigofera sp.</i>					●				●							●
275			コマツナギ (中国産)	<i>Amorpha striata</i>					●				●							●
276			ヤハスソウ	<i>Lysiphe bicolor</i> var. <i>bicolor</i>					●				●							●
277			ヤハスソウ	<i>Lysiphe buergeri</i>					●				●							●
278			キハギ	<i>Lysiphe buergeri</i>					●				●							●
279			メトナギ	<i>Lysiphe buergeri</i>					●				●							●
280			マルハナギ	<i>Lysiphe buergeri</i>					●				●							●
281			マルハナギ	<i>Lysiphe buergeri</i>					●				●							●
282			イヌエンジュ	<i>Quercus amurensis</i>					●				●							●
283			クサ	<i>Quercus lobata</i> ssp. <i>lobata</i>					●				●							●
284			オオバタンキリマメ	<i>Rhynchosia acuminatifolia</i>					●				●							●
285			ハリエンジュ	<i>Robinia pseudacacia</i>					●				●							●
286			クサ	<i>Sophora flavescens</i>					●				●							●
287			コマツツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>					●				●							●
288			コマツツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>					●				●							●
289			シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>					●				●							●
290			ナヨクサフ	<i>Vicia sativa</i> ssp. <i>nigra</i>					●				●							●
291			ヤハスソウ	<i>Vicia villosa</i> ssp. <i>varia</i>					●				●							●
292			スズメノエンドウ	<i>Vicia hirsuta</i>					●				●							●
293			ヤブツルアズキ	<i>Vigna angularis</i> var. <i>hispida</i>					●				●							●
294			フジ	<i>Wisteria floribunda</i>					●				●							●
295			カタハミ	<i>Ovalis corniculata</i>					●				●							●
296			カタハミ	<i>Ovalis corniculata</i> f. <i>rubrifolia</i>					●				●							●
297			ウスアカカタハミ	<i>Ovalis corniculata</i> f. <i>tropaeoloides</i>					●				●							●
298			ムラサキカタハミ	<i>Ovalis dilatata</i>					●				●							●
299			オウタチカタハミ	<i>Ovalis stricta</i>					●				●							●
300			ユツタチカタハミ	<i>Geranium carolinianum</i>					●				●							●
301			アメリカフウロ	<i>Geranium thurberi</i>					●				●							●
302			オウタチカタハミ	<i>Geranium thurberi</i>					●				●							●
303			オウタチカタハミ	<i>Geranium thurberi</i>					●				●							●
304			オウタチカタハミ	<i>Geranium thurberi</i>					●				●							●
305			オウタチカタハミ	<i>Geranium thurberi</i>					●				●							●
306			オウタチカタハミ	<i>Geranium thurberi</i>					●				●							●
307			オウタチカタハミ	<i>Geranium thurberi</i>					●				●							●
308			オウタチカタハミ	<i>Geranium thurberi</i>					●				●							●